

エリアウェーブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2737
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

「伝える力」

人は3歳頃から少しずつ気持ちをコントロールできるようになってくると言われています。まだ、幼いために自分の思い通りにならない、相手に理解してもらえないなどから泣き叫ぶというケースや物にあたるというケースもあります。それは、どんな言葉を使って気持ちを表現したらいいのかわからないからと言われています。

こういう場合は、子どもの気持ちが高ぶっているため、周りの声が耳に入らないこともあります。気持ちが落ち着くのを待って、子どもの話をよく聴き、「くやしかったんだね」などと、子どもの気持ちに共感したり代弁したりすると、この感情にはこういう言葉で表現するんだという結びつきができ、自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになってきます。

「自分の好きな人のことを思い浮かべてください。」

子育て研修会でのちょっとしたワークショップの課題です。「次に、その人のよいところを書いてください。時間は2分。いくつでもいいですよ。」という内容のものでした。

好きな人＝今、自分が一番気になる人だそうです。よいところの数＝多いほど、その人をいろいろな角度から見る余裕があるそうです。

私は、子どものことを思い浮かべたのですが、子どものよいところと言われて、なかなか思い浮かばず、かえってだめなところばかり思い浮かぶ自分にハッとさせられました。その時、子育てに対してですが、自分自身に余裕がないことを指摘されました。

子どもを「ほめる」ことが大切なのよ、とよく言われますが、よいところがあっても言葉や行動で伝えてあげないと子どもには伝わりません。親は、つい叱ったり注意したりと子どものだめなところに注目しがちですが、抱きしめたり、ほめた

り、感謝したりして、よいところを増やしていくことのほうが重要なのかもしれません。

だめなところが1つあったら、よいところを3つ見つけるくらいの気持ちを心がけることが大切です。抱きしめられたり、ほめられたりするの大人になってうれしいことです。人を元気にしたり穏やかな気持ちにさせてくれたりすることをたくさん伝えてあげましょう。そうすることで、子どもの自己表現力も伸びてくるはずですよ。

キレル子どもが増えた、と言われますが、こういう経験が少ないために、幼い気持ちのまま、自分の感情をどう表現したらいいのかわからないまま成長しているのも一因だと思われま。子どもの自己表現力を伸ばす第1歩は、大人が表現を豊かにすることだと思います。

たくさん言葉と接する機会と、それに合わせたくさんの体験をすることで、いろいろな言葉や感情を学び、「伝える力」も自然と身につくと思います。

ちょっといい話

中学校の懇談会でお母さんがこんなことを語ってくれました。

「子どもが小さかった頃は、自分から親の方へ寄ってきて、スキンシップを求めてきたのに、大きくなるとそういうそぶりがなくなって残念です。それも成長なので仕方ありません。

今の私の楽しみは、子どもの寝顔とスキンシップをすることです。子どもたちはぐっすり眠っているので気づかないと思うんですが…。やっぱり寝顔はかわいいものですよ。」と。

親にとっては、子どもがどんなに大きくなっても、やっぱり子どもなのですね。よい親子関係を！

甲州子どもフェスタ

子育ての輪が広がり、さらなる子育て支援の充実をはかるためのフェスタ！

11月5日（金）甲州市の塩山ふれあい館において、第5回甲州子どもフェスタが開催されました。子育て中の親子 600 人くらいの参加者があり、過去最高となりました。この催しは、甲州子どもフェスタ実行委員会の主催で、甲州市の子育て対策課が事務局となり、市民生活課や健康増進課、地域防災連絡会議、市内4つの支援センターや主任児童委員、食生活改善推進委員、青年会議所など多くの市民団体の協力で実施されました。今年は市内の小学校、保育園、幼稚園に使わなくなったおもちゃの提供を呼びかけたり、塩山高校の「発達保育」を選択している3年生がボランティアとして参加したりと新しい試みもありました。

赤尾保育園のチビッコ太鼓がオープニングを飾り、バルーンを使った親子遊び、おもちゃと絵本の交換会や子育てサークル・サロン・行政支援の紹介の情報コーナー、食育コーナー、子育て相談コーナー、防災安全コーナー、手形・足形、はらぺこ広場などたくさんのブースは、とても盛況でした。また、プチイベントコーナーとしてベビーマッサージ、絵本くらぶの読み聞かせ、子育てミニ講座「魔の2歳児とのお付き合い大作戦」「親になるってどういうこと？—こどもの育ち・親の育ち—」もあり、子どもが楽しむだけでなく保護者も学べる時間となりました。行政や地域の方々との協働で温かい雰囲気この子どもフェスタとなりました。



〈塩山高校生による受付の様子〉



〈元気いっぱい赤尾保育園チビッコ太鼓〉



〈バルーン遊び〉



〈歯科検診・フッ素塗布〉



〈防災安全コーナー〉



〈相談コーナー〉

交通事故事例講話のご案内 「交通事故の判例から『安全』を考える」

日時 平成22年12月17日（金）
午後13:30～（50分間）

場所 山梨園芸高校体育館

講師 高山 俊吉 弁護士

交通安全教育の一環として、『交通事故事例講話』を実施します。多くの方々のご参加をお待ちしています。参加ご希望の方は、下記担当までご連絡を下さい。

山梨園芸高校 TEL055-262-4135 FAX055-262-8205 坂本まで

ご自身が扱った事件の判例などを基に、先生が長年培われてきた「安全や命」について、生徒自らが考える内容でお話いただけます。

一日のスタートは、バランスのとれた朝ごはんから！

「朝はなかなか起きられない」「朝は食欲がない」などの理由から、朝ごはんを食べないお子さんもいるようですが、「早寝早起き朝ごはん」や「食育」の推進もあり、最近はその数は減少してきました。

朝ごはんを食べることで、睡眠中に低下した体温や血糖値が上がり、体を目覚めさせることができます。また、脳は、糖分をエネルギーとして働くので、朝ごはんで炭水化物を摂ると、朝の集中力が上がるそうです。もちろん他の食べのものを摂取することも必要です。バランスのとれた朝ごはんをしっかりと食べて、一日をスタートさせましょう。

昔は家族そろって食事をするのがあたりまえでしたが、生活スタイルが変わり、晩ごはんの時間がばらばらになってしまう家庭もあるようです。少し早起きをして、朝ご飯をみんなでそろって食べるのもよいかもしれませんね。

日本の子どもの食事を表す「こ食」という言葉をご存知ですか？

孤食：一人きりの食事

子食：子どもたちだけの食事

個食：自分の好きなものを、家族がそれぞれ食べること

固食：決まったものしか食べないこと

小食：いつも食欲がなく、食べる量が少ないこと

粉食：パンやパスタなど、粉を使った主食を好んで食べること

なにを食べるのか、どのように食べるのかを考えることも大切！

山梨県立産業技術短期大学校 学園祭「産技祭」開催

10月30日（土）に山梨県立産業技術短期大学校の学園祭第12回「産技祭」が開催されました。当日は台風が接近する悪天候の中、模擬店、学生によるパフォーマンス・クイズ大会、コンサートライブの催しや農業大学の野菜の販売などが行われました。



(模擬店の様子)

甲州市市内の小学生が参加した「小学生ものづくり体験塾」では、お湯で動くエンジンの製作やパソコンを使った宝さがしなど、天気のことにも気にならない様子でそれぞれの種目に熱心に取り組んでいました。



(小学生ものづくり体験塾：)

お湯で動くエンジン製作)

山梨県立産業技術短期大学校 平成23年度一般入学検定試験

産業技術短期大学校では平成23年度一般入学検定を実施します。

	出願期間	選考試験
前期日程	平成22年12月13日(月)～ 平成23年1月19日(水)(必着)	平成23年1月27日(木)
後期日程	平成22年 3月 3日(木)～ 平成23年3月16日(水)(必着)	平成23年3月22日(火)

*後期日程は入学予定者の状況により、学科によっては実施しない場合もあります。

○学校説明会：平成22年12月5日(日)午前10時～ どなたでも参加できます。

お問い合わせ：山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課 電話0553(32)5201

山 梨 県 立 ろ う 学 校

秋の大きな行事を2つとりあげ、本校の紹介をさせていただきます。

第26回笛吹祭(学園祭) —10月2日(土)—

■ 学芸発表: 幼稚部「うらしまたろう」

小学部「わすれられないおくりもの(物語)」

中学部「今を生きる私たち

～大切な命について考える～(創作)」

高等部「TEAM(創作)」

支援教育部ひよこ「3びきのこぶた」

■ 音楽発表: 音楽の授業の発表(歌・リズム・楽器演奏等)。

- 有志発表: バンド「Sunshine」(高等部有志)による、楽曲「YELL」「キセキ」。「エバザイル」(中学生有志)によるダンス。ドラム・キーボード・ギターなどを真剣に演奏する先輩や、赤青のライトに照らされてステージで踊る先輩に、小学生からは「かっこいい!」の歓声やアンコールの拍手が続きました。都留文科大学の実習生にも裏方としてお手伝い頂きましたが、終了後は「来る前は、ろう学校って静かな学校だと思っていたけど、こんなに賑やかで流行の歌もちゃんと知ってるし…ろう学校のイメージがまったく変わりました。」等の感想が目立ちました。



オーケストラ公演(セントラル愛知交響楽団が来校) —10月26日(火)—

文化庁主催の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として、本校体育館で行われました。今秋全国14校を巡回するそうですが、ろう学校での講演は初めてとのこと。



既に1学期にワークショップがあり、プロの方々から本校小中学生に実技指導をしていただきましたので、当日はオーケストラ演奏を聴いた後、楽曲「ペルシャの市場にて」を共演(語りやカスタネットなどの楽器演奏)。その他「ゆかいに歩けば」「校歌」の合唱、指揮者体験、楽器紹介など本当に盛りだくさんの内容でした。

児童生徒の感想:「私たちは、いろいろな音が混ざっていると、一つ一つの楽器の音がよくわかりません。でも今日は、実際に近くで見ながら聴いたので、今弾いているこの楽器の音はこういう音なんだと確認しながら聴けたことが良かったです。(中学生)」

「指揮者の人の、はくりよくがすごかった。最初はこわくてびっくりした。大きくふると大きな音を出すことがわかった。こうやってふってたよ～。すごいね～。(小学生)」

「本物」を同じフロアで見聴いて感じて、共に歌って演奏した、貴重な芸術体験となりました。

幼稚部・小学部・中学部・高等部があります。幼稚園から高校まで4つの学校が一緒になったような学校です。さらに支援教育部もあり、県内在住の聴覚に障害のある乳幼児や通常学校に在籍する児童生徒への支援も行っています。

住所 山梨市大野1009 **電話** 0553(22)1378

URL <http://www.kai.ed.jp/rogako/index.htm>